

平成22年10月分 愛媛県の電力需給状況

需要の概要

平成22年10月の販売電力量は、7億8千6百万kWh時、前年比 101.7%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、9月上中旬の気温が前年に比べ高めに推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 103.4%となった。

電灯等の低圧需要の10月分検針期間は、前月(9月)の検針日～当月(10月)の検針日の前日までの1か月間であるため、9月における気温影響の一部は、10月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、前年比 102.2%となった。

産業用の「大口電力」は、化学や紙・パルプなどが前年を上回ったことなどから、前年比 100.4%となった。

需要実績

(百万kWh時, %)

		当 月		累 月	
		電 力 量	前 年 比	電 力 量	前 年 比
特定規模需要以外の需要	電 灯	252	103.4	1,952	108.5
	電 力	49	101.8	379	104.0
	計	301	103.1	2,331	107.8
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	166	102.2	1,323	104.1
	産業用電力	319	100.1	2,242	108.2
	うち大口電力	(251)	(100.4)	(1,743)	(109.9)
	計	485	100.8	3,565	106.6
販売電力量計		786	101.7	5,896	107.1

(参考1) 全社の需要実績 (百万kWh時, %)

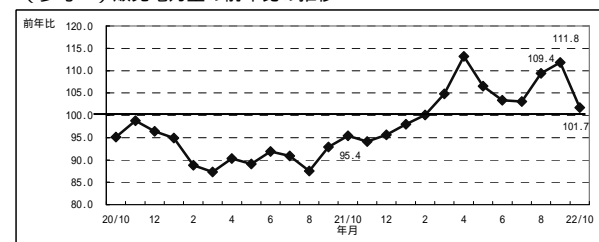
	当 月		累 月	
	電 力 量	前 年 比	電 力 量	前 年 比
	716	103.5	5,580	108.7
	148	101.7	1,149	104.0
	864	103.2	6,729	107.8
	498	102.6	3,985	104.2
	898	102.6	6,232	108.1
	(711)	(104.0)	(4,849)	(109.7)
	1,396	102.6	10,217	106.5
	2,260	102.8	16,946	107.1

大口電力の産業別内訳

(百万kWh時, %)

	当 月		累 月	
	電 力 量	前 年 比	電 力 量	前 年 比
食 料 品	15	103.9	108	102.0
織 維	31	89.7	182	120.9
紙・パルプ	79	102.8	569	107.8
化 学	30	107.1	194	122.9
鉄 鋼	18	93.7	130	124.3
機 械	43	99.3	309	103.0
電 気 機 械	28	96.8	202	101.0
そ の 他	35	103.5	251	104.8
大 口 計	251	100.4	1,743	109.9

(参考2) 販売電力量の前年比の推移



(参考3) 松山市の平均気温

	H 22 年 9 月				H 22 年 10 月			
	上 旬	中 旬	下 旬	月平均	上 旬	中 旬	下 旬	月平均
実 績	29.0	26.2	22.9	26.0	21.2	20.3	17.4	19.6
平年差	3.5	2.5	1.1	2.3	1.2	1.8	1.1	1.4
前年差	3.0	3.5	1.2	1.7	0.7	1.8	0.1	0.9

供給の概要

- 原子力は、定検の影響により、前年比 72.3%となった。
- 水力は、前年と同様に渇水であったため、前年比 107.0%となった。
- 火力は、原子力の減少などから、前年比 126.8%となった。

供給実績

(百万kWh時, %)

	電 力 量		備 考
	電 力 量	前 年 比	
原 子 力	1,096	72.3	出率率 61.8% (21年10月 41.4%)
水 力	28	107.0	
火 力	166	126.8	
新 工 ネ	18	156.1	
発 受 電 計	1,308	77.7	
そ の 他			
供 給 計	1,308	77.7	

注：四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考4) 全社の供給実績 (百万kWh時, %)

	電 力 量		備 考
	電 力 量	前 年 比	
	1,096	72.3	出率率 80.3% (21年10月 60.1%)
	231	138.2	
	1,481	132.4	
	31	136.0	
	2,838	100.5	
	16		
	2,823	100.1	

注：四捨五入の関係で、合計が合わないことがある